

北海道 てんかん

地域診療 連携体制整備事業

てんかんのある方は決して稀ではなく、1,000人に8人(日本全体で100万人)ほどです。

乳幼児から高齢者のいずれの年齢層でも発症し、

成長や自動車運転に支障が及び、認知症や脳卒中と関係します。

「北海道てんかん地域診療連携体制整備事業」が令和元年12月に始まりました。

北海道医療計画に関わる診療連携体制構築のほか、

市民啓発活動、相談支援体制構築、情報提供や研修などを予定しています。

地域協議会

